

<様式2> 総合農業技術センター試験・研究課題事前評価表

総合農業技術センター課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名：原油・資材費高騰に対応した低コスト生産技術の確立

小課題名：コショウランの省エネルギー栽培技術の確立

細目課題名：

担当者名：藤木俊也

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5	花き生産額で県内1位の販売額を上げるコショウランは原油高騰から生産コストが上昇しており、緊急性の高い農家ニーズに基づいた重要課題である。
2 課題の新規性、独創性	4	コショウランにおいては、慣行より低温下での栽培試験は新規性が高い。秋冬期における変温管理も考えている点が独創的である。
3 目的・内容の整合性、妥当性	5	低温下での生理代謝の促進を目途に、CO ₂ 施用下での地上部や地下部での生育調査を行う点が評価できる。目的に合致した試験設計である。
4 研究手法の的確性、技術的可能性	4	多数品種の検討及び生育と開花の時期別加温の検討は妥当である。ヒートポンプ技術が普及し始めており、合わせた取り組みも重要である。
5 成果の期待度	5	原油高騰、生産資材値上がりの中、コスト低減技術の期待度は高い。高品質生産とコスト削減の両立が経営面から重要である。また、研究データが公開されれば、それを踏まえて個々の農家に合った管理ができるので、詳細なデータ開示が重要である。
総合評価	5	やや難度が高い課題であるが作物生育に関わる新領域の研究として期待される。本試験研究により栽培体系の見直しができるくらいの革新的技術を期待する。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

栽培体系の見直しが可能となるよう試験を実施していく。試験結果は、早期に活用できるよう単年度成績についても生産現場で活用できるよう資料化し、最終年度には経営試算も加えた栽培体系にまとめ、情報提供を行う。また、ヒートポンプの効果については、導入農家での実績等を調査し成果に含めていく。

